

造形教育における効果的な教授法の考察(後編)

- エニアグラムタイプと造形タイプの関係性を探る -

中川 賀 照
Nakagawa Yoshiteru

要 旨

教授の際、指導者や学習者の性質や性格などによって教授方法を変える必要があるのではないかと考え、前編ではエニアグラムと造形に関するアンケート調査(本学の学生145名)によって収集したデータの相関関係等を調べながら、それぞれの造形タイプがもつ特徴を探った。後編では、それらのデータを用いたより具体的な授業での活用例や方法等について考察した。

キーワード：造形教育、エニアグラム、脳の使い方(右脳と左脳)、タイプ別教授法

1 はじめに

前編では、3年間学生達の協力によって集めたデータを基に、エニアグラムのタイプと造形活動で見られる主なタイプとの関連性を数値やグラフでの比較によって分析を試みた。しかし、エニアグラムタイプの判別は一度の調査だけでは難しいということが分かった。そこで、可能性のある上位2つの場合についてカウントすることにし、エニアグラムタイプとその他の項目との関係性を相関関係や総体グラフとの比較によって分析していった。ある一定の特徴や傾向は浮かび上がってきたが、それらを活用するには相当の力量がいることも分かった。それに比べ、「脳の使い方」や「空間位置」、「したい表現方法」等の調査は簡単で短時間に行うことができ、またそれらの項目間での関連性も多く見つかり、授業等ですぐに活用できる方法だということも分かった。

前編では、私自身がこれまで苦手だと感じてきた学習者たちは、自分とは違うタイプである可能性も高いことが分かった。後編では、分析結果を基に授業等で活用できる具体的な教授法について考察していきたい。

2 研究の方法

- (1) エニアグラムタイプと造形タイプに配慮した効果的な教授法について
- (2) 授業における具体的な使い方について

3 研究内容とその考察

- (1) エニアグラムタイプと造形タイプに配慮した効果的な教授法について
ア エニアグラムタイプ別の傾向と留意点

アンケート調査で、平均との差が20%以上あり傾向が強く出たのは次の3つのタイプである。

タイプ1(改革する人)は、『脳の使い方』の「左脳右脳」が41.2% (平均23.4%) と『したい表現方法』の「具象表現」が64.7% (平均44.7%) と大変多く、具体的な表現方法を好み、聞き上手で客観的なアドバイスができる人が多いことが窺える。

タイプ3(達成する人)は、男子が50% (平均19.2%)、『アドバイス』は「受けたい」が64.3% (平均43%)、『制作』の「技術の向上」が35.7% (平均21.3%) とそれぞれ多いことから、具体的な所に目標を置き、積極的にアドバイスを求め向上を目指す傾向があることが分かる。



タイプ8(挑戦する人)は、『制作』では、「過程での経験」が38.5% (平均18.4%) とかなり多く、『したい表現方法』では「抽象表現」が7.7% (平均32.6%) とかなり少ないことから、行動的で結果よりもその過程を楽しみ、より具体的な目標をもって行動することが分かる。

イ 「脳の使い方」のタイプ別の傾向と留意点

左脳と右脳の組み合わせは4つしかない。学習を効果的に行うには、理解を右脳とするタイプには説明の際に絵や実物などを用いる方法が効果的であると考えられ、表現を左脳で行うタイプは、表現の際に文章などで補足が効果的と考えられる。

インプット (理解)	アウトプット (表現)	脳の使い方 (左脳は論理的、右脳は感覚的)
左脳	左脳	物事を論理的に考えないと、気が済まないたち。
右脳	右脳	楽天的で自由奔放、自分が大好きな一面もある。
右脳	左脳	どんどん前に進め、自分を表現するのがうまい。
左脳	右脳	聞き上手で、客観的なアドバイスができる。

例えば、アンケート調査で特徴がよく顕れた陶芸コースでは、『脳の使い方』の「左脳左脳(几帳面で努力家)」が30% (平均16.6%) と大変多く、「左脳右脳(聞き上手)」が10% (平均23.4%) と大変少ないことから、一人で取り組もうとする気質はあるので、具体的な制作を通じながら素材や材料、技法などを習得していけるステップ学習的な教授法が効果的であろうと思われる。

ウ 「空間位置」のタイプ別の傾向と留意点

ここではタイプは9である。次の表は、それぞれのエリアでの傾向をまとめたものである。

左上	世話好き、親しみやすい アクティヴ型	中上	楽天的、目的意識が高い 感情を表す	右上	直感的に行動する、創造型 気持ちや考えを率直に表す
左中	受動的、意見を聞く 人と関わることを好む	真中	平和、中庸 ほどよい距離感を好む	右中	能動的、意見を主張する 人と関わらないことを好む
左下	指示待ちタイプ、オタク型 慎重で綿密に計画する	中下	冷静、人の反応を待ち動く 感情表現を抑える	右下	成果にこだわる、鑑賞型 一生懸命だが結果が出ない

例えば、『空間位置』の「真中」が50% (平均31.7%) と大変多かったデザインコースでは、『展覧会』へは「ほとんど行かない」も50% (平均35.9%) と大変多いことや、中下の位置を選んだ学生も『脳の使い方』の「左脳右脳」が37.5% (平均23.4%) と『展覧会』へは「ほとんど行かない」が50.0% (平均31.7%) と大変多く同様の傾向が見られることから、目的意識と積極性を高める学習方法とその教授法が効果的と思われる。

中上の位置は、『エニアグラムタイプ』の「タイプ7(熱中する人)」が33.3% (平均9.0%) と大変多く、『脳の使い方』では「左脳左脳」「左脳右脳」がどちらも無かったことから、入力は感覚的に行われているようで、世間でよく使われる右肩上がりという言葉と合致している。既に目的意識も高く意欲的でもあるので、それらを更に伸ばす課題解決型学習やその教授法が効果的であろう。

左中の位置の全体数は少ないが、『アドバイス』の「受けない」が71.4% (平均43.0%) ということから、学習者の悩みに応じた適切な教授を積極的に行うと良いと思われる。

右中の位置では、「日本画コース」が42.6% (平均13.1%) と大変多く、「XY軸のベクトルの方向」

の傾向から、能動的であり人に関わらず自己主張をするタイプが多いと推測でき、構い過ぎるといやがられるようである。本人が本当に求めた時にだけ教授することが大切であろう。

エ 「したい表現方法や解決の仕方」の傾向と留意点

「制作中に先生からアドバイスを受けたいか」で、受けたいという積極的なタイプは、自分から質問をして多くすることが多いし、こちらから声をかけてもスムーズにアドバイスを受ける傾向がある。問題は、あまり受けたくないと感じた学習者に対する接し方である。私はまず、「困っているところはないですか」と声をかけることにしている。アドバイスをしたくなる場合でも、我慢して本人の意思を尊重し、助けを求めてくるまで待つが、その際にも全て指導されたという印象を持たせないために、本人が考える余裕を残しておくようにしている。

例えば、アドバイスをあまり受けたくないを選んだ人は、『**展覧会**』には「ほとんど行かない」が**50.0%**（平均**31.7%**）、『**したい表現方法**』では「その他」が**62.5%**（平均**22.7%**）と大変多いことが分かる。『**脳の使い方**』では「右脳右脳」が**37.5%**（平均**32.4%**）と多く、「右脳左脳」が**12.5%**（平均**27.6%**）と少なく、情報の入力論理的で出力は感覚的に行っているタイプが多いことが分かる。また、『**空間位置**』では「右上」**25.0%**（平均**17.9%**）と「右下」**25.0%**（平均**13.1%**）が多いこと、さらに『**エニアグラムタイプ**』では「タイプ4（個性的な人）」が**25.0%**（平均**16.2%**）と「タイプ5（調べる人）」が**18.8%**（平均**10.7%**）と少し多く、「日本画コース」**25.0%**（平均**13.1%**）と「クラフトコース」**25.0%**（平均**11.7%**）に多いことが分かる。個性的で独自の考え方をする場合が多いので、教授の際には注意と配慮が必要で、じっと見守ることも教授の一方法と考えることが大切である。

『制作で大切にしたいこと』として、「技術の向上」を挙げた学習者には、ステップ学習などにより難易度を少しずつ上げていく学習方法を、「創造の楽しさや喜び」を挙げた学習者には、あまり型や技術に捕らわれない自由で豊かな発想を評価すると、モチベーションが上がる。「制作過程での経験」を挙げた学習者には、多少の失敗も前向きに捉えられるので、次に繋げようとする姿勢を応援すると効果的である。

『自分がしたい表現方法』で「抽象表現」や「その他」を挙げた学習者は、新しい表現方法を模索している状態であると推測できるので、図書館の利用や興味を示すと思われる展覧会を紹介したり、制作途中の作者の工夫や発想を取り上げて評価したりすると効果的である。

『**展覧会**』には、「ほとんど行かない」と答えた学習者は、自分のこれまでの経験だけで発想している場合が多く、過去にうまくいったことを繰り返してみたり、うまくいかなかったことで苦手意識だけをもってしまったりすることもある。外部からの刺激や、興味をもてる媒体を探すようにしたい。

展覧会によく行くを選んだ人は、「**洋画コース**」**68.8%**（平均**31.0%**）の**女子88.2%**（平均**80.8%**）が圧倒的に多く、『**アドバイス**』を「**受けたい**」も**62.5%**（平均**43%**）と大変多いことが分かった。また『**したい表現方法**』では「抽象」が**43.8%**（平均**32.6%**）と多く、好奇心が旺盛で研究熱心なので適切なタイミングでの教授だけで大きな効果が期待できる。打てば響く学習者は教え甲斐のあるタイプである。

(2) 授業における具体的な使い方について

ア 教授者と学習者のエニアグラムタイプ別の留意点

教授者と学習者のそれぞれのタイプによって関係性は変化するので、ここでは教授者の視点から見たときの学習者に対する注意や留意すべき点について、エニアグラム「9つの性格タイプの相性～可能性を開くかわり方～」※(1)を参考にしながら一覧表にしてみた。

私はこの一覧表と、後ほど紹介する「**教授参考メモ**」とを一緒にしてB5用紙に両面印刷し、指導用バインダーに挟んでおいたり、出席簿や座席表に要点を記号化して書き込んで利用している。活用例としては、学生の発表を聞く場面などで発表者の様子を観察しながら一覧表の内容と比較し、それらの傾向が当てはまっているかなどを確かめている。大いに参考になる場合もあるが、違和感を覚える時もあり、経験を積み重ねながら改良を加えていく必要がある。

あると考えている。

教授者	学習者	関係性や可能性	留意すべきところ
タイプ 1	タイプ 1	現実的で、常に改善して質の高い物を生む。	リラックスして、楽しむこと。
	タイプ 2	優しさや温かさ、明るさに気持ちがなごむ。	気持ちの通い合いを大切にすること。
	タイプ 3	目標達成の具体的なビジョンを掲げられる。	方針の変更は、目標を達成するため。
	タイプ 4	繊細さや創造性、自由、情熱を表現できる。	気持ちを大切にしつつ率直に伝える。
	タイプ 5	適度な距離で知的関心事を共有していける。	共通の関心事を軸に、時間をかけて。
	タイプ 6	大切なことや、人のために献身的である。	必要以上に、自立を促さないこと。
	タイプ 7	確実に形にし、質の高いものを生み出せる。	ポジティブな雰囲気大切にすること。
	タイプ 8	素直に本音で話せ、信頼関係が築ける。	考えを伝え、率直に関わるとよい。
	タイプ 9	個人的利益よりも全体のことを優先できる。	良いところを積極的に褒めること。
タイプ 2	タイプ 1	安定感や一貫性、理性を頼りにしていける。	気持ちをよく聞いて受け止めること。
	タイプ 2	気持ちや人間関係を大切に同じ価値観。	感情的になったら一呼吸置くこと。
	タイプ 3	人を惹き付ける魅力があり、誇りに思える。	相手との間に丁度の距離を置くこと。
	タイプ 4	温かく、気づかいに満ちた関係ができる。	安定的に関わる距離を持つこと。
	タイプ 5	違い故に惹かれ合い助け合うことができる。	一人を好むことを理解してやること。
	タイプ 6	互いに、大切な人のために献身的に働ける。	自立を尊重し、介入しすぎないこと。
	タイプ 7	共に外交的で、物事に対して楽観的である。	選択肢を多くし、本人に決定させる。
	タイプ 8	互いに、積極的で情に深く面倒見がよい。	追従的で自己犠牲的にならないこと。
	タイプ 9	互いの気持ちを癒やす優しい雰囲気がある。	本当に相手に有益か反応を確かめる。
タイプ 3	タイプ 1	自立していて、才能の発揮を応援し合える。	プロセスを重視していることを知る。
	タイプ 2	社交的で快活で、人に好印象を与える存在。	解決策の提示よりも、気持ちの共有。
	タイプ 3	向上心が強く目標に向かってハードに働く。	お互いの気持ちや、心の欲求に耳を。
	タイプ 4	自分の感性を大切にし質の高い物を求める。	相手と気持ちの通い合いを持つこと。
	タイプ 5	得意分野で才能を発揮し不足を補え合える。	目標達成を急がず相手の意見を尊重。
	タイプ 6	互いに目的意識が高く、实际的で一生懸命。	心の繋がりの確認のために一緒に時間を。
	タイプ 7	多くの計画や活動に携わりエネルギッシュ。	創造性を尊重しながら遂行の手助け。
	タイプ 8	互いに自己主張が強く自信と説得力がある。	隠さず本音で接し、信頼を得ること。
	タイプ 9	性格の違いを補い合える関係を構築できる。	必要なサポートを相談して進める。
タイプ 4	タイプ 1	洗練された繊細で美的な感覚を共有できる。	一貫して安定した態度で臨むこと。
	タイプ 2	信頼関係ができれば、お互いに癒やされる。	日常関係の中で幸福を感じる瞬間を。
	タイプ 3	自分に無いものをもって救ってくれる。	感情に溺れないように一呼吸置いて。
	タイプ 4	お互いの個性や創造性を尊重すると親密に。	自然の中で過ごし心身のバランスを。
	タイプ 5	ユニークな視点を持ち追求する姿勢を尊敬。	一定の距離を置いて心落ち着く時間。
	タイプ 6	互いに率直な気持ちで、支え分かち合える。	現実的な見方ややり方をもっと尊重。
	タイプ 7	自由を好み、情熱的で激しい感情の揺れも。	落ち着いた時間をもって深い話を。
	タイプ 8	互いにリスクを恐れず、情熱的で衝動的。	繊細さと深みを生かして信頼を得る。
	タイプ 9	共に創造性豊かで、才能の伸長をサポート。	安心できる空気の中でよく聴くこと。
	タイプ 1	感情に流されず事実に基づいて冷静に判断。	途中の考えも伝えて、時間を掛けて。
	タイプ 2	判断力や知識技能と前向きな人間性の融合。	そうだねと、受け止める姿勢でOK。
	タイプ 3	冷静な判断と魅力的でエネルギッシュな力。	途中の考えを伝えて話し合うこと。

タイプ 5	タイプ 4	お互いアウトサイダーでサポートし合える。	本気の対応を望んでいることを知る。
	タイプ 5	互いの自立を尊重しながら親密になること。	自分から主体的に関わりを持つこと。
	タイプ 6	客観的な状況分析により知的刺激を受ける。	話をよく聞いて内容の整理を手伝う。
	タイプ 7	互いに頭の回転が速く、人間関係を好む。	考えや感じていることを伝えること。
	タイプ 8	パワーとブレインの互いの違いを補完する。	率直なコミュニケーションが大切。
	タイプ 9	互いの個人的領域を尊重し繋がりが持てる。	分析的にならず、直接話を聞くこと。
タイプ 6	タイプ 1	気さくな6と冷静な1で着実に課題解決。	憶測せず、気持ちを率直に伝える。
	タイプ 2	6の構想力、実行力と2の面倒見のよさ。	理屈で説得しようとしなくて傾聴。
	タイプ 3	3のヴィジョンを6が具体的な計画で実行。	疑問をため込まずに相談すること。
	タイプ 4	気分の浮き沈みを乗り越えて分かち合える。	4の自由で柔軟な生き方を尊重する。
	タイプ 5	フレンドリーであるより、人間らしさを。	何を考えているか不安な時は聴く。
	タイプ 6	お互いに対して忠実で安心感がある関係。	議論の応酬に気を付けて間を置く。
	タイプ 7	楽観的な7を6の献身、慎重さが助ける。	スキンシップで言葉を越えた繋がり。
	タイプ 8	互いの信頼が強いきずなを生み、達成可能。	率直な関りが自立した関係を築ける。
	タイプ 9	6の計画的な手際のよさと9の辛抱強さ。	9の穏やかで前向きな雰囲気を理解。
タイプ 7	タイプ 1	自由で豊かな発想を1が確実な形にする。	相手の事情をよく理解してから行動。
	タイプ 2	思いやりがあり、リラックスさせてくれる。	相手の献身を当たり前にならず感謝。
	タイプ 3	3の集中力と粘り強さがチャレンジを推進。	時に立ち止まり問題を話し合う時間。
	タイプ 4	自由で情熱的、ロマンチックな会話を好む。	心静かに、落ち着く時間を持つこと。
	タイプ 5	アイデアや議論を通じて新領域を探求する。	必要な境界を尊重し落ち着いて話す。
	タイプ 6	言葉でのやりとりを楽しみ、補い合う関係。	一方的にアドバイスしないで、傾聴。
	タイプ 7	元気で楽しく大勢と幸せを分かち合いたい。	一つ一つのことを丁寧に味わうこと。
	タイプ 8	互いにリーダー気質、協力して困難を克服。	繊細なので弱いところをつつかない。
	タイプ 9	互いに楽観的で自然体、ムードメーカー。	承諾されても無理がないか確認する。
タイプ 8	タイプ 1	8のパワフルさと1のきめ細かさで、実行。	自分の考えを押しつけず相手を尊重。
	タイプ 2	前向きな取り組みと温かく細やかな気遣い。	自分だけで仕切らず、時には任せる。
	タイプ 3	3の有能さを分かると互いに誇りに思える。	努力や達成を評価しその貢献に感謝。
	タイプ 4	互いに強い感情で、4は内向8は自己主張。	相手をコントロールしようとしなくて。
	タイプ 5	行動する前に、5の知性や洞察力を参考に。	考えに自信があっても押しつけない。
	タイプ 6	8のチャレンジ精神が6の分析力で即解決。	信頼を得、自立を促す接し方をする。
	タイプ 7	互いに権威やルールに縛られず、即実行型。	選択肢を示して、得意分野を任せる。
	タイプ 8	互いに刺激的で同時にリラックスできる。	張り合わず弱さを見せられる関係に。
	タイプ 9	困難な状況では9の穏やかさが助けになる。	素直に好意を伝え安心できるように。
タイプ 9	タイプ 1	互いに理想主義的で、1の着実実行が学び。	黙っていないで考えを表現すること。
	タイプ 2	穏やかな雰囲気に2の外向性で癒しの空間。	してくれたことに言葉で感謝を言う。
	タイプ 3	変身願望が、3の向上心から刺激を受ける。	受け身にならず、具体的に伝える。
	タイプ 4	9の受容性と4の情熱性が、補い合う関係。	率直な気持ちを話すように心がける。
	タイプ 5	総合的なビジョンに熟慮した計画が加わる。	無理に合わさず自然体で関わること。
	タイプ 6	全体を見る視点に、6の手際さが加わる。	以心伝心ではなく言葉で伝えること。
	タイプ 7	7に刺激をもらい新しい可能性のきっかけ。	考えがまとまらなくても伝えること。
	タイプ 8	8のパワフルさに献身さが加わり達成する。	びくびくしないで、率直に話すこと。
	タイプ 9	互いの個人領域を尊重し、穏やかで前向き。	リアルな繋がりを深め率直に関わる。

イ エニアグラムタイプによる造形的な傾向

これまでのことを参考に、それぞれのエニアグラムタイプによる造形的な傾向を推測してみた。次の表は、「リソによる性格の主な九分類法」によるタイプ別の「主な特徴」と「造形面に見られるこだわりや傾向（私の推論）」である。

タイプ	主な特徴	造形面に見られるこだわりや傾向(中川の推論)
1	改革する人 良識的で理想主義のタイプ。高潔。きっぱりした。自己抑制的で、完全主義者。	これまで獲得してきた技術や技法を基に、新しいものを加えようと常に努力し、自分の納得のいくまで作品を仕上げようとするタイプで、具体的（写實的）な傾向を好む。
2	助ける人 思いやりがあり、人間関係を重視するタイプ。寛容。気持ちを表現する。八方美人。所有欲が強い。	作品に自分の思いや願い、感情などを込めようとする傾向が強く、ストーリー性の強いアニメや漫画などを描いたり見たりし、それらをコレクションしたがる傾向がある。
3	達成する人 成功志向で実際的なタイプ。適応力がある。卓越している。強迫観念に駆られた。外面を気にする。	世の中が求めている傾向を素早くキャッチし、それに適した作品を創ることができる。世に言う売れる作品、売れっ子作家になれる資質を持つ。ゲームクリエイターやアニメーター。
4	個性的な人 繊細で引っ込みがちなタイプ。表現力がある。ドラマティック。自己陶酔的。気まぐれ。	芸術性の高い作品に惹かれ、自身もそれらの傾向を好んで描いたり表現しようとする芸術家タイプ。内向的で暗いテーマやドラマチックな演出を好む傾向がある。
5	真剣で知的なタイプ 洞察が鋭い。革新的。秘密主義的で、孤立する。調べる人。	制作する前に入念なデッサンやスケッチをしたり、テーマに関することを十分に調べたりしてから表現しようとする。独自のアイデアや技法を開発しようとする。
6	忠実な人 真剣に関わる、安全志向なタイプ。愛嬌がある。責任感が強い。心配性で、疑り深い。	模写や模刻などによって古典的な文化から学ぼうとする姿勢が強く、具象的な表現の傾向が強く見られる。新しいスタイルや形式に関心があまりない。
7	熱中する人 活動的で、面白いこと好きなタイプ。自発的。多芸多才。欲張りで、注意散漫。	時代の流行に敏感で、新しい技法や思考を積極的に取り入れ、精力的に創作活動を行う。インスタレーションや抽象的な表現を好む傾向がある。
8	挑戦する人 パワフルで、仕切るタイプ。自信に満ち、判断力に富む。強情で、対決的。	様々な文化や技法などを統合し、新しい物を創造しようとする姿勢がある。その実現のためには労を惜しまないが、その行動を理解できない人も出てくる。
9	平和をもたらす人 のんびりしていて、控えめなタイプ。受容的。安心させる。周りに合わせる。自己満足的。	平和や安らぎなどをテーマにした表現を好み、自身もその活動により柔らかな人間関係を築こうとする。イラストレーターや絵本作家、陶芸家が多い。

ウ エニアグラムタイプ等を使った実際の活用例

① 座席表や名列表へのメモ

私は、エニアグラムのタイプ7であることが分かっている。私の場合は、これらの情報を常に意識して指導できるように、出欠確認用の名列表や座席表に ①エニアグラムタイプ（例：7）②空間位置（例：2）③脳の使い方（例：右右）④アドバイス（例：受、時々、×）の4項目について、括弧の中の記号を記入して使っている。

② 教授参考メモの作成と携帯

上記記号を、更に詳しく知りたいときのために、次のような資料「**教授参考メモ**」をB5サイズにプリ

「教授参考メモ」(エニアグラム **タイプ7**の場合)

教授者	学習者	関係性や可能性	留意すべきところ
タイプ7	タイプ1	自由で豊かな発想を1が確実な形にする。	相手の事情をよく理解してから行動。
	タイプ2	思いやりがあり、リラックスさせてくれる。	相手の献身を当たり前にはせず感謝。
	タイプ3	3の集中力と粘り強さがチャレンジを推進。	時に立ち止まり問題を話し合う時間。
	タイプ4	自由で情熱的、ロマンチックな会話を好む。	心静かに、落ち着く時間を持つこと。
	タイプ5	アイデアや議論を通じて新領域を探索する。	必要な境界を尊重し落ち着いて話す。
	タイプ6	言葉でのやりとりを楽しみ、補い合う関係。	一方的にアドバイスしないで、傾聴。
	タイプ7	元気で楽しく大勢と幸せを分かち合いたい。	一つ一つのことを丁寧に味わうこと。
	タイプ8	互いにリーダー気質、協力して困難を克服。	繊細なので弱いところをつつかない。
	タイプ9	互いに楽観的で自然体、ムードメーカー。	承諾されても無理がないか確認する。

タイプ	主な特徴	造形面に見られるこだわりや傾向(中川の推論)
1	改革する人 良識的で理想主義のタイプ。高潔。きっぱりした。自己抑制的で、完全主義者。	これまで獲得してきた技術や技法を基に、新しいものを加えようと常に努力し、自分の納得のいくまで作品を仕上げようとするタイプで、具体的(写実的)な傾向を好む。
2	助ける人 思いやりがあり、人間関係を重視するタイプ。寛容。気持ちを表現する。八方美人。所有欲が強い。	作品に自分の思いや願い、感情などを込めようとする傾向が強く、ストーリー性の強いアニメや漫画などを描いたり見たりし、それらをコレクションしたがる傾向がある。
3	達成する人 成功志向で実際のなタイプ。適応力がある。卓越している。強迫観念に駆られた。外面を気にする。	世の中が求めている傾向を素早くキャッチし、それに適した作品を創ることができる。世に言う売れる作品、売れっ子作家になれる資質を持つ。ゲームクリエイターやアニメーター。
4	個性的な人 繊細で引っ込みがちなタイプ。表現力がある。ドラマティック。自己陶酔的。気まぐれ。	芸術性の高い作品に惹かれ、自身もそれらの傾向を好んで描いたり表現しようとする芸術家タイプ。内向的で暗いテーマやドラマチックな演出を好む傾向がある。
5	調べる人 洞察が鋭い。革新的。秘密主義的で、孤立する。調べる人。	制作する前に入念なデッサンやスケッチをしたり、テーマに関することを十分に調べたりしてから表現しようとする。独自のアイデアや技法を開発しようとする。
6	忠実な人 真剣に関わる、安全志向なタイプ。愛嬌がある。責任感が強い。心配性で、疑り深い。	模写や模刻などによって古典的な文化から学ぼうとする姿勢が強く、具象的な表現の傾向が強く見られる。新しいスタイルや形式に関心あまりない。
7	熱中する人 活動的で、面白いこと好きなタイプ。自発的。多芸多才。欲張りで、注意散漫。	時代の流行に敏感で、新しい技法や思考を積極的に取り入れ、精力的に創作活動を行う。インスタレーションや抽象的な表現を好む傾向がある。
8	挑戦する人 パワフルで、仕切るタイプ。自信に満ち、判断力に富む。強情で、対決的。	様々な文化や技法などを統合し、新しい物を創造しようとする姿勢がある。その実現のためには労を惜しまないが、その行動を理解できない人も出てくる。
9	平和をもたらす人 のんびりしていて、控えめなタイプ。受容的。安心させる。周りに合わせる。自己満足的。	平和や安らぎなどをテーマにした表現を好み、自身もその活動により柔らかな人間関係を築こうとする。イラストレーターや絵本作家、陶芸家などが多い。

1 左上	世話好き、親しみやすい アクティブ型	2 中上	楽天的、目的意識が高い 感情を表す	3 右上	直感的に行動する、創造型 気持ちや考えを率直に表す
4 左中	受動的、意見を聞く 人と関わることを好む	5 真中	平和、中庸 ほどよい距離感を好む	6 右中	能動的、意見を主張する 人と関わらないことを好む
7 左下	指示待ちタイプ、オタク型 慎重で綿密に計画する	8 中下	冷静、人の反応を待ち動く 感情表現を抑える	9 右下	成果にこだわる、鑑賞型 一生懸命だが結果が出ない

インプット(理解)	アウトプット(表現)	脳の使い方 (左脳は論理的、右脳は感覚的)
左脳	左脳	物事を論理的に考えないと、気が済まないたち。
右脳	右脳	楽天的で自由奔放、自分が大好きな一面もある。
右脳	左脳	どンドン前に進め、自分を表現するのがうまい。
左脳	右脳	聞き上手で、客観的なアドバイスができる。

ントし携帯している。机間巡視での個別指導や、発表等の場面では本人の特徴を把握するのに大変役立っている。プリント上部の教授者のタイプを入れ替えると、全てのエニアグラムタイプで使用できるようになっている。

③ グループワークでの活用

美術科教育法では、学習指導案の作成と模擬授業でグループ活動を取り入れている。今年度は、4名の班を7組作った。その際、コースや性別、エニアグラムタイプ、脳の使い方、空間位置などが重ならないようにし、学生たちにはなるべく違ったタイプ同士になるように組み合わせを行い、互いの違いをうまく生かせるようにして欲しいと伝えた。活動を見ていると、最初から自分とは違うタイプ同士であるということを知っているの、探り合う時間が短縮されるとともに、お互いもっている力を引き出し合おうとする意識が強まっているように感じた。知恵を出し合って、初めての学習指導案作り、そして夏休みを挟んで模擬授業へとつながっていった。

実際の模擬授業では、それぞれの特性に応じた役割分担を行おうとする姿が例年より多く見られるなど一定の効果を感じたが、感想を直接学生たちに聞いたわけではないので、私の観察と判断によることである。難しいと思われるが、今後は振り返りの場面やアンケート調査などの手法を用い、これらを検証できる仕組みを設定していきたいと思っている。

おわりに

この教授法は、特に教授者と異なるタイプの学習者への対応に効果があると思われる。学習者との間で違和感を感じたとき、ちょっと立ち止まって「**教授参考メモ**」に目をやる。または、授業前に、学習者の特徴をこれらで把握しておくだけで、大きなトラブルを回避できる可能性が高くなると思われる。

しかし、注意しておきたいのは、これらの資料は学習者のタイプを分類することが目的ではなく、教授者や学習者双方の特徴を知ることによって、良い人間関係やコミュニケーションを図るためのツールであるということである。

私が実際に使ってみて感じたことは、相手を理解しようとする意識が強くなったということ、またクラスや社会は様々なタイプの人たちで成り立っており、どの人も何らかの役割を持って存在しているということである。ともすると、学習進度の遅れや学習意欲の低さなどを学習者のせいにしてしまうことがよくある。それらのほとんどは、教授者の思い方一つで変わる。この研究が、教授者と学習者の関係性向上の一助となれば幸いである。

参考・引用文献

- (1) エニアグラム「9つの性格タイプの相性～可能性を開くかわり方～」 有限会社シープラスエフ研究所 2012